

## ワークショップ 2

### 「消化管疾患とリキッドバイオプシー」

司会 中島 淳（横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室）

本田 一文（日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野）

リキッドバイオプシーは、生体より液体サンプルを採取して臨床検査を行うもので、低侵襲な検査方法として期待されている。2021年には血漿中セルフリーDNAを用いたがん関連遺伝子のパネル検査が保険収載され、注目度が増している検査手法である。本セッションでは、悪性腫瘍に限らず、消化管疾患全体から、血液、唾液、尿など、様々な液体検体を用いた解析の演題を募集する。早期発見、診断、治療への応用まで、幅広い研究テーマを期待する。